

『皆様こんにちは。』 今年、少し梅雨入りが遅れているようです。各地で水不足が起きているとの報道もされ、地球温暖化の影響が、そこかしこに現れてきている事が、この頃よくニュースで取りあげられています。1人1人の取り組みは小さくても、皆が取り組むと大きな効果が生まれます。この夏、地球にやさしい行動を1人1人が少しずつ行ってみようではありませんか。

さて、このたび当協議会では、情報発信紙『協議会だより 第15号』を発行しました。

今号は、5月17日(木)に開催されました第15回協議会(自治会選出委員の出席者数16名)の内容についてお知らせします。

第15回協議会 次第

1. 事業の進捗状況について
2. 施設整備について
3. 協議会の運営について
4. その他



協議会の開始に先立って、事務局から

「自治会選出委員が、二名増えました。」と、新委員の紹介がありました。

新年度に入り、協議会に参加をいただいている施設周辺地域自治会に、協議会への参加のご案内文書を送付(4月27日付)し、参加のお願いを行いましたところ、2自治会から参加の表明をいただき、本日付(5月17日)で委員が二名増えましたので、この協議会の自治会選出委員は全員で20名(20自治会)となりました。

事業の進捗状況について、事務局から前回協議会以降のできごとや、これからの予定など、次のように説明がありました。

- ◎ 事業の進捗状況については、特に大きな変更などありません。
- ◎ 訴訟につきまして、5月15日に組合等被告側証人の主尋問が大阪地方裁判所で行われ、当組合の証人からは、専門委員会で検証した、組合施設の安全性等について、証言がされました。

施設整備について

まず、事務局から啓発設備について、次のように説明がありました。

◎ 啓発設備について

施設内に設置される啓発設備について、説明します。

- ・ 啓発設備設計に際しては、「施設に対する理解を深める」、「資源循環型社会形成の再認識」、「限りある地球資源の有効再利用」をコンセプトに、施設機能を「導入ゾーン」、「説明ゾーン」、「体験ゾーン」、「環境学習ゾーン」の4つに分割し、施設見学に来られた方が、また来てみたいと感じていただける設備としました。
 - ・ 「導入ゾーン」(管理棟1階ホール)には、インフォメーションボードを設置します。
 - ・ 「説明ゾーン」については、管理棟3階に施設説明用会議室を設置し、映像ビデオにより、施設の役割等の学習が出来ます。また、処理棟3階ホールには、施設の処理フローを確認出来るように、フローパネルを設置します。なお、会議室は組合議会の議場としても使用します。
 - ・ 「体験ゾーン」については、処理棟3階の見学者通路と見学者ホールから手選別室や中央操作室を見学出来るようにガラス張りとなっており、家庭から排出されたごみがどの様に処理されているのか学習出来ます。また、機械室前には解説パネルを設置します。
 - ・ 「環境学習ゾーン」(管理棟2階の展示室)には、施設全体の模型ディスプレイ、再生工程ディスプレイを設置し、再生品の展示と合わせて、施設概要やリサイクルの仕組みについて学習出来ます。
- また、循環型社会を形成する上でプラスチックごみなどの、分別排出の必要性を促す啓発パネルを設置します。
- なお、このフロアーには、憩いスペースとしてベンチを設置します。

これに対して、各委員からは、次のような意見や質問が出されました。

○ 施設関係の展示やパネルでは、どこかの工場見学と変わらない。なぜこの施設が必要かを考えると CO2 の削減、すなわち地球環境問題にたどり着くと思われる。ここへ来れば、地球環境問題について学習出来るような施設を考えてもらいたい。また、パネル展示ばかりではなく、映像を使って見たり、聞いたり出来る内容のものや、体験も出来るものを導入して、魅力のある設備を考えてもらいたい。

○ 小さい子供は、説明にあったようなパネル展示が多い状況では理解出来ず、親が文字を読み上げて教えることになる。子供が自分で触れたり、体験したりして良くわかる、学習出来るものを考えてもらいたい。

(回答：ご意見いただいた、映像等で環境問題の学習が出来るものや、子供が自分で触れたり、体験したり出来る設備を再検討し、次回の協議会に改めて提案させていただきます。)

次に、月間の工事工程について説明がありました。

なお、この協議会日より発行(6/15)時点での、工事の進捗状況と工程(予定)は次のとおりです。

○ 処理棟の工事関係について

- ・ 6月1日から処理棟ピットの北部及び南部の土間の工事、西部の機械基礎工事を行っています。また、6月25日には、機械の据付を行う予定です。
- ・ 6月6日からは、1階の壁の工事を行っており、6月18日からは、鉄骨の組上げが始まります。
- ・ 6月9日に処理棟工事に伴う残土の搬出を完了しました。

○ 管理棟の工事関係について

- ・ 6月7日から、管理棟の基礎工事を行っています。

○ 工事車両の搬出入計画について

- ・ コンクリートミキサー車が、6月15日、18日、19日に、コンクリート打設のため、それぞれ進入します。また、コンクリートミキサー車の搬入経路について、警察及び西日本高速道路との協議が整い、5月16日から寝屋川公園前交差点を直接左折して進入出来るようになり、打上方面への迂回が解消されました。
- ・ その他車両(クレーン車、掘削重機、トレーラ、トラック、ポンプ車)が2台程度進入する日があります。

工事の説明について、各委員から「もっと、要点だけをわかりやすく説明してほしい。」と意見がださ

れ、事務局から「次回から改善する。」と回答がありました。

次回の協議会について

次回の協議会のテーマを、①事業の進捗状況について、②施設整備について、③協議会の運営について、④その他とし、平成19年6月21日(木)午後7時半からと決まりました。

あなたも、今からすぐに環境にやさしい

取り組みができますよ～!

4R(よんアール)にご協力下さい!

最近、「3R(スリーアール、さんアール)、4R(フォーアール、よんアール)」という言葉が耳にされることがあると思いますが、これは循環型社会の形成をめざしていくためのキーワードです。

☆リデュース(Reduce) ☆リフューズ(Refuse)
ごみを減らすこと、出さないように工夫すること。
……(発生抑制)

☆リユース(Reuse)
もう一度使うこと。……(再使用)

☆リサイクル(Recycle)
もう一度他のものやそのものを作れるようにすること。……(再利用)

暮らしの中の取り組み例

★リデュース ★リフューズ

- ・ 買い物をするときはマイバッグを持参する。
- ・ 必要な分だけを買う。

★リユース

- ・ リターナブル容器を選ぶようにする。(例、ビール瓶、一升瓶等、再使用出来るもの。)
- ・ 不用になった服はリフォームしたり、フリーマーケットに出す。
- ・ 電化製品などが故障したとき、修理すれば使えるものであれば修理して使う。
- ・ 再生部品を用いた機器類を使う。

★リサイクル

- ・ 市や地域単位で実施する古紙、びん、缶、ペットボトルなどの分別回収の取り組みに協力して、決められた場所に、決められた方法で出す。



発行：北河内4市リサイクル施設環境保全推進連絡協議会
連絡先：北河内4市リサイクル施設組合 TEL：072-823-2038
URL：<http://www17.ocn.ne.jp/~recyclek/index.html>



北河内4市リサイクル施設組合の事業には、今後ともご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。